

第43回 岩手育種談話会・第24回植物生命科学セミナー

第43回岩手育種談話会・第24回植物生命科学セミナーを下記の要領で開催致します。今回の談話会は農研機構 遺伝資源センターの高橋 有氏（本学卒業生）、岩手大学農学部 殿崎 薫氏に下記のテーマで話題提供していただくことにしました。皆様の御参加をお願い申し上げます。また学生の参加を歓迎します。

本談話会は岩手農林研究協議会（AFR）及び植物生命科学セミナーとの共催で開催されます。

1. 高橋 有 氏（農研機構 遺伝資源センター）

「野生植物から新しい作物を」

2. 殿崎 薫 氏（岩手大学農学部）

「イネ胚乳の生殖的隔離を引き起こすオス・メスゲノムのせめぎ合い」

日 時：2020年1月30日（木）15:30～17:15

場 所：岩手大学農学部 6 番講義室（農学部南講義棟）

内容1：環境適応力の高い作物を開発する「カギ」は野生植物にある。なぜならすでにサボテンは砂漠で繁栄し、マングローブは海水域に成立するためのメカニズムをもっているのである。このように極度なストレス耐性をもつ野生植物を作物化してはどうだろうか？こんなアイデアから生まれたマメ科野生植物を対象とした研究を紹介する。また同所属の有賀裕剛氏がウイルスベクターを用いたゲノム編集を紹介する。

内容2：種間交雑では生殖的隔離の1つとして、胚乳発生の異常が生じる。多くの植物種において一定の法則性が見出されているものの、その原因メカニズムは明らかになっていない。これまでに提唱されてきた遺伝モデルを踏まえ、最近の研究で明らかになりつつある胚乳の生殖的隔離の原因メカニズムについて議論する。

講演終了後に、講師のお二人を囲んでの情報交換会を会費2,000円で行います。情報交換会にご参加の方は準備の都合上、以下の連絡先に1月24日（金）までにご連絡下さい。こちらの方も是非ご参加下るようお願いいたします。

連絡先：岩手大学農学部 畠山勝徳・殿崎 薫 (TEL: 0196-621-6151, 6152)
e-mail; khatake@iwate-u.ac.jp, tonosaki@iwate-u.ac.jp